

安心で快適な運転を支援する 「Honda SENSING」。

Hondaは“Safety for Everyone”をスローガンに、クルマやバイクに乗っている人だけでなく、道を使うだれもが安心でいられる「事故に遭わない社会」の実現をめざしています。

その思想のもと、リアルワールドでの実態を見据えた安全を追求し、万一の際の衝突安全から、事故を未然に防ぐ予防安全、その中間に位置するプリクラッシュセーフティまで、すべての段階で安全技術を開発してきました。そして培った外界検知技術をベースに、これまで検知が難しいとされてきた歩行者まで検知対象を拡大し、安心で快適な運転を支援する「Honda SENSING」をジェイドに採用しました。

Honda SENSING

ミリ波レーダーと単眼カメラで構成されるHonda SENSING。

Honda SENSINGは、エンブレム裏に設置したミリ波レーダーと、フロントウインドウ内上部に設置した単眼カメラという、特性の異なる2種類のセンサーで構成されたシステム。性能をさらに向上させたミリ波レーダーは、対象物体の位置や速度だけでなく、検知が難しいとされてきた電波の反射率が低い歩行者まで検知対象を拡大しています。また、単眼カメラは車両前方の歩行者や対象物体の属性、大きさなどを識別。より精度の高い認識を可能としています。

■システム構成図



回避支援

■衝突軽減ブレーキ (CMBS) タイプ別設定

2003年に、Hondaが*世界で初めて実用化した衝突軽減ブレーキ。その機能をさらに進化させ、ミリ波レーダーと単眼カメラで前走車、対向車、歩行者を検出。前走車や歩行者との衝突の恐れがある場合に音と表示で知らせ、さらに接近した場合は軽いブレーキをかけて体感的に警告。それよりさらに接近した場合はブレーキをかけ回避操作を支援します。また、対向車線にはみ出して対向車と衝突する恐れがある場合は、音と表示に加えステアリング振動で警告し、回避操作を促します。さらに接近し、回避行動が間に合わない場合は、ブレーキが作動し衝突速度を低減して被害の軽減を図ります。

